

織物の産地として発展してきた桐生市には、ものづくりの伝統が息づいている。

繊維産業のみならず機械金属工業を中心とした製造業でも、類いなき技術を有し、優れた製品やユニークな独自商品を開発、生産している事業所が数多く存在する。

そこからつくり出されたものに注目し、「ものづくりのまち桐生」の魅力を再発見したい。

## 建具・家具・木製品

### 大澤木工(有)



### 限りない可能性に挑戦し続ける

大澤木工有限会社は、特注建具・家具の製造販売から組子入りの行灯や額縁などの木製インテリアに至るまで、ありとあらゆる木製品を手掛ける“木工のスペシャリスト集団”である。

建具とは、建物の出入口等に取付けられる仕切りの事である。外部の建具は建物への出入口や風雨から守り外観をととのえる役割を果たし、内部の建具は個室の出入口、大部屋の間仕切り、クローゼットの扉等あり、和室では代表的な襖、紙貼り障子、書院障子、欄間等を言う。今日、建具は木製、アルミ製（鋼製）、樹脂製と素材も多くなったが、中でも木製建具は高度な技術と数多くの道具を必要とし、熟練と経験が最も問われる分野である。

また、こうした基本技術を有してこそできる組子の技法も見事。組子でデザインされた行灯や額は、木製家具とも調和のとれたインテリアとしても人気を集めている。なかでもピラミッド型スタンド（写真左上）やファッションタウン桐生推進協議会が主催する「わがまち風景賞」の表彰額としても用いられている組子入り額（写真下）は、「グッドデザインぐんま」に選定されている。

同社では、卓越した技術を有する職人たちが洗練された技法を駆使し、芸術品とも言える建具や家具を造り出している。取締役の大澤直也氏は、平成22年に厚生労働省の表彰制度である「現代の名工」に選出されており、現在は、全国伝統建具技術保存会の幹事を務めるなど業界の振興や若手後継者の育成にも尽力している。

「建具や家具はもちろん、木の加工に関することなら何でもご相談ください。」



企業名 大澤木工有限会社

所在地 〒376-0002 桐生市境野町2-654-3

電話 0277-44-7680